学校番号	314

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「NEXT　数学Ⅲ」　（数研出版）						
副教材等	「CONNECT 数学Ⅲ+C」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・ 自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・ 問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・定期的に振り返りシートを記入します。学んだことをまとめられるようになりましょう。

２　学習の到達目標

１ベクトルや複素数平面、式と曲線について，概念を理解し，基礎的な知識の習得と数学的処理技能の習熟を目指す。
２ベクトルや複素数平面、式と曲線について，数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けることを目指す。
３ベクトルや複素数平面、式と曲線について，事象を数学的に考察したり多面的に捉える能力，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことを目指す
４横断的・総合的な学習や問題演習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面上のベクトル	第1節　ベクトルとその演算 ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 第2節　ベクトルと平面図形 位置ベクトル ベクトルの図形への応用	a: 平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。 b: 実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。 c: 事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

2学期	空間のベクトル	空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの図形への応用	a：空間上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。 b：ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 c：問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
	複素数平面	複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	a：複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解している。 b：複素数平面における図形の移動などと関連付けて，複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 c：事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

3学期	式と曲線	第1節　2次曲線 放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と曲線 2次曲線と離心率 第2節　媒介変数表示と極座標 曲線の媒介へ縫う表示 極座標と極形式 コンピュータの利用	a: 放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解している。 b: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c: 事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度